



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月4日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 5821

URL <http://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隅田 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 目黒 裕次

(TEL) 03 (5493) 1711

四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	3,511	41.1	128	—	133	—	65	—
22年3月期第1四半期	2,488	△45.3	△139	—	△114	—	△113	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	9	33	9	18
22年3月期第1四半期	△16	29	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
23年3月期第1四半期	19,504	13,980	71.6	1,990	68
22年3月期	19,654	13,974	71.0	1,989	77

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 13,967百万円 22年3月期 13,960百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6 00	—	8 00	14 00
23年3月期	—				
23年3月期（予想）		8 00	—	10 00	18 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	7,100	26.8	240	—	250	—	165	—	23	52
通期	15,400	18.6	760	132.6	770	71.7	530	69.6	75	54

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	8,655,900株	22年3月期	8,655,900株
23年3月期1Q	1,639,684株	22年3月期	1,639,646株
23年3月期1Q	7,016,250株	22年3月期1Q	6,959,551株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

わが国経済は、輸出・生産の増加、個人消費の持ち直しが見られましたが、雇用情勢に厳しさが残るなど依然として厳しい状況が続きました。海外におきましても、アジア経済については、中国などの新興国経済にけん引される形で好調を維持し、米国経済も緩やかに拡大しました。一方、欧州経済については、景気は下げ止まっているものの、財政赤字や信用不安により回復の基調が上がらないまま推移しました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、企業の設備投資が下げ止まり、自動車、産業用機械、半導体市場等が持ち直し、クラウドコンピューティングやハイパフォーマンスコンピューティングをはじめとした高信頼性、省エネ及び大容量・高速情報処理が要求される市場が拡大するなど緩やかに回復基調へ向かっております。

このような環境の下、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は35億11百万円（前年同期比41.1%増）、営業利益は1億28百万円（同2億68百万円増）、経常利益は1億33百万円（同2億48百万円増）、四半期純利益は65百万円（同1億78百万円増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

景気の回復を受け、半導体製造関連ケーブル、民生用デジタル機器用ケーブル、車載ケーブル等の売上が増加し、売上高は27億47百万円となりました。売上高の大幅な増加により営業利益は1億77百万円となりました。

（電子・医療部品）

ネットワーク機器、医療用特殊チューブとも売上が増加し、売上高は7億78百万円となりました。売上高の増加により営業利益は1億21百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億50百万円減少し195億4百万円となりました。主な減少は、「投資有価証券」の評価損等99百万円及び設備投資の抑制に伴う「有形固定資産」の減少95百万円であります。また、業績の回復に伴い「たな卸資産」が1億54百万円増加し「現金及び預金」が1億23百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億56百万円減少し、55億23百万円となりました。主な減少は、「支払手形及び買掛金」の減少92百万円及び「未払法人税等」の減少64百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し139億80百万円となりました。

（キャッシュ・フローについて）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ23百万円減少し、22億25百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、39百万円（前年同期比7億22百万円減）の資金の支出となりました。主な減少要因は、たな卸資産の増加1億42百万円、仕入債務の減少1億5百万円及び法人税等の支払額93百万円であり、主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1億6百万円及び減価償却費1億70百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億14百万円（同12億14百万円増）の資金の獲得となりました。主な要因は、定期預金の払戻による収入1億円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億13百万円（同1億78百万円減）の資金の支出となりました。主な減少要因は、配当金の支払額が56百万円及び短期借入金の減少額39百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、当初予想の範囲内で推移しているため、平成23年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成22年5月7日の「平成22年3月期決算短信」発表時に公表しました予想値に変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第1四半期会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し帳簿で計上する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理の原則・手続の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益は、8百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は8百万円であります。

表示方法の変更

（四半期連結損益計算書）

1. 前第1四半期連結累計期間において、区分掲記していた「助成金収入」は、営業外収益の100分の20以下であるため、営業外収益の「その他」に含めております。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれている「助成金収入」の金額は3百万円であります。

2. 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,686,918	3,810,036
受取手形及び売掛金	4,780,240	4,760,481
商品及び製品	845,557	812,762
仕掛品	414,841	380,267
原材料及び貯蔵品	1,293,156	1,206,420
繰延税金資産	134,909	133,191
その他	333,777	314,296
貸倒引当金	△1,881	△1,887
流動資産合計	11,487,518	11,415,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,002,732	3,044,769
機械装置及び運搬具（純額）	1,419,814	1,476,856
その他（純額）	1,328,315	1,324,805
有形固定資産合計	※1 5,750,863	※1 5,846,430
無形固定資産	119,578	120,627
投資その他の資産	※2 2,146,385	※2 2,272,347
固定資産合計	8,016,828	8,239,405
資産合計	19,504,346	19,654,974
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,657,921	1,750,583
短期借入金	387,891	445,036
未払法人税等	27,541	91,640
繰延税金負債	418	408
その他	452,353	400,638
流動負債合計	2,526,127	2,688,306
固定負債		
長期借入金	1,371,432	1,371,432
退職給付引当金	1,362,168	1,365,983
役員退職慰労引当金	215,078	211,140
その他	48,992	43,605
固定負債合計	2,997,670	2,992,161
負債合計	5,523,797	5,680,468

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,538,480	1,538,480
資本剰余金	1,442,624	1,442,624
利益剰余金	13,796,734	13,787,402
自己株式	△2,243,450	△2,243,421
株主資本合計	14,534,389	14,525,086
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,183	41,044
繰延ヘッジ損益	△2,509	—
為替換算調整勘定	△558,659	△605,423
評価・換算差額等合計	△567,352	△564,378
少数株主持分	13,510	13,798
純資産合計	13,980,548	13,974,506
負債純資産合計	19,504,346	19,654,974

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	2,488,097	3,511,704
売上原価	2,083,425	2,836,786
売上総利益	404,672	674,918
販売費及び一般管理費	※ 544,618	※ 546,379
営業利益又は営業損失(△)	△139,945	128,539
営業外収益		
受取利息	4,824	4,567
受取配当金	3,247	3,373
負ののれん償却額	5,498	5,498
助成金収入	27,745	—
その他	5,966	12,253
営業外収益合計	47,282	25,693
営業外費用		
支払利息	7,376	4,362
為替差損	14,014	14,580
その他	510	1,679
営業外費用合計	21,902	20,623
経常利益又は経常損失(△)	△114,564	133,609
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	7,323	—
受取保険金	—	7,729
その他	204	35
特別利益合計	7,527	7,765
特別損失		
投資有価証券評価損	—	25,782
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	8,800
特別損失合計	—	34,582
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△107,037	106,792
法人税、住民税及び事業税	9,297	28,823
法人税等調整額	589	13,162
法人税等合計	9,887	41,986
少数株主損益調整前四半期純利益	—	64,805
少数株主損失(△)	△3,559	△656
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△113,364	65,462

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△107,037	106,792
減価償却費	196,403	170,114
賞与引当金の増減額(△は減少)	△84,542	—
為替差損益(△は益)	△36,009	△3,638
投資有価証券評価損益(△は益)	—	25,782
売上債権の増減額(△は増加)	1,403,711	△3,716
たな卸資産の増減額(△は増加)	172,807	△142,967
仕入債務の増減額(△は減少)	△525,957	△105,279
その他	△331,374	316
小計	688,001	47,403
利息及び配当金の受取額	7,790	9,404
利息の支払額	△6,016	△3,376
法人税等の支払額	△6,789	△93,386
営業活動によるキャッシュ・フロー	682,985	△39,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△985,000	—
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△83,986	△22,811
有形固定資産の売却による収入	1,990	46
無形固定資産の取得による支出	—	△2,080
投資有価証券の取得による支出	△29,045	△5,546
その他	△4,070	44,816
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,100,111	114,423
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	124,239	△39,890
長期借入金の返済による支出	△17,500	△17,500
自己株式の取得による支出	—	△29
配当金の支払額	△41,757	△56,130
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,982	△113,549
現金及び現金同等物に係る換算差額	130,069	15,963
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△222,074	△23,117
現金及び現金同等物の期首残高	2,792,419	2,248,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,570,345	※ 2,225,294

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	電線・加工品 (千円)	電子・医療部 品他 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対す る売上高	1,852,679	635,418	2,488,097	—	2,488,097
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,268	—	1,268	(1,268)	—
計	1,853,948	635,418	2,489,366	(1,268)	2,488,097
営業利益又は営業損失 (△)	△98,360	107,601	9,240	(149,186)	△139,945

[セグメント情報]

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,717,188	778,166	3,495,355	16,349	3,511,704	—	3,511,704
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,061	340	30,401	—	30,401	△30,401	—
計	2,747,250	778,507	3,525,757	16,349	3,542,106	△30,401	3,511,704
セグメント利益	177,988	121,245	299,233	10,394	309,627	△181,088	128,539

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1億81百万円には、セグメント間取引消去△30百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1億50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。